

アウトソーシング

厚紙商業印刷分野で高い競争力 「クォリティー&エコロジー」で顧客支援を強化

岩井美術印刷の強み

30年に及び磨かれた 技術力と品質力

●事業内容 カタログ、パンフレット、ポスター、カレンダー、書籍、DM、POP、パッケージの印刷から製本まで一括受注。

●特色 長年にわたり技術力と品質力を磨いており、とくに厚紙商業印刷の分野で高い競争力を持っている。

●主な設備内容 ケミカルレスサーマルCTP「Azura」対応プレートセッタ「AvalonLF」、5色・菊全判機LS-540、6色・菊半裁判機LS-626、同5色機、同4色機、同2色機、勝田製作所断裁機（四六全判）、ハイデルベルグ折機（菊全判～ミニ）、三光精機中綴機（6鞍・乱丁防止装置付）、自動二連式穴明機、ミシン・筋押機、角丸断裁機、帯掛機

株式会社岩井美術印刷は、日本アグファ・ゲバルトからケミカルレスサーマルプレート「アズーラ」の国



ケミカルレスCTPアズーラ対応アバロンLF

● 株式会社岩井美術印刷 ●

東京都墨田区立花6-3-13
TEL 03-3616-8491 FAX 03-3616-8098
URL <http://www.iwai-art-p.co.jp>

内導入100台目を導入し、フルデジタル生産体制を構築するとともに環境印刷に対応した。

アグファのアズーラは2004年12月に発売以来、検版ができる環境対応型CTPとして導入が進んでいる。枚葉、輪転を問わずに活用されており、現像液管理を不要とした利便性と10万部の耐刷力などが高く評価されている。

100台目を導入した岩井美術印刷は昭和53年4月に創業し、今年で30周年を迎える。下請け専門に日々、技術力と品質力を磨いており、とくに厚紙商業印刷の分野で高い競争力を持っている。

同社のプリプレス工程はアズーラを導入するまで、フィルムから刷版に焼き付けるアナログのみの体制だった。一方、印刷業界のデジタル化の進展に伴って、月産4000から5000版という刷版のうち、データ入稿の割合が増加。当初はCTP出力を外注し、データ入稿に対応していたが、時間短縮と品質管理の両面から内製化を決断し、CTPシステムの選定を始めた。

同社では導入を予定していた他社製のサーマルCTPに合わせて人材を獲得し、CTP室を設けるなど、デジタルワークフロー体制の確立へ準備を進めていた。しかし、「2007



アズーラ100台目導入記者発表で。
右から2人目が岩井社長

年9月に開催されたIGAS2007の会場で、家族で何気なく立ち寄ったアグファブースで岩井社長の考えが変わる。「そこで見たケミカルレスCTPアズーラとその出力機アバロンLFには驚かされた」（岩井良春社長）と急遽、機種選定の方針を変更。アズーラの導入を決定した。

岩井社長はCTPが持つ特徴に加え、①コンパクトで省スペース、②ケミカルレスプレートでも検版ができる、③現像機がいらないので面倒な液の管理がない、④そのため汚れや臭いもなく、環境保護に対応している、⑤念願の高精細印刷スプリマにも対応する、の5点を評価。「理想的なソリューション。家族3人それぞれ、心の中でこれだと決めた」という。

現在、CTP化により、全刷版の2割がデジタルワークフローに取り込まれた。導入して1ヵ月足らずだが、オペレータも「全く楽」と作業性を保証する。また高精細XMスクリーニングのスプリマについても通常の業務の中で印刷しても問題なく、「すんなりと入れた」（岩井社長）。

今年4月には後継者の良太氏が日本プリンティングアカデミーを卒業し、同社に入社。今後は品質向上と環境対応「クォリティー&エコロジー」をテーマに、顧客支援をさらに強化していく。